

おぼろ じめりお

月も朧に白愈の

30 Q 勘亭流
字間ツメ/行間4H送り

篝も霞む春の空

つめてえ風もほろ酔いに

心持ちよくうかつかと

浮かね鳥のただ一羽

ねぐらへ帰る川端で

棹の雫か濡れ手で乗

90 Q 勘亭流/字間ツメ

こいつあ春から

縁起がしいわえ

126 Q 勘亭流/字間ツメ

思いがけなく手に入る百兩

ほんに今夜は節分か

西の海より川のなか

落ちた夜鷹は厄落とこ

豆沢山で一文の 銭と違つて金包み

こいつあ春から縁起がしいわえ

『お嬢吉三』三入吉三廓初買、大川端の場

20 Q 勘亭流/字間ツメ